

科目名	国際文化基礎演習B				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	文化学部	配当年次	2年次
教員名	シャ シーミン			単位数	2単位

授業概要／Course outline

本演習では、基礎演習Aに続き、「外国語教育とジェンダー」「外国語としての日本語」「外国語習得論」「学習者心理」に関する関連書籍を多読し、知識を深めるとともに、学習者のデータを分析し、アカデミックスキル（文献検索、読解、発表、分析）を身につけることを目的としています。

具体的には、前半の授業では、担当者が各文献の章の要約と論点の整理を行い、PPTを用いて発表します。それに基づき、全員が自身の経験や見聞を踏まえて、グループディスカッションを行います。後半の授業では、外国語学習者のデータを用いて、Excelによる定量分析を活用し、イシュードリブンなアプローチを習得することを目指します。受講生には積極的に主体的な参加を期待します。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

演習

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション）
- 3～4人でのグループワーク・ディスカッションを行います。
- Powerpointを用いた、個人プレゼンテーションを行います。
- ・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業／遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- オンデマンド授業は、moodleで配信する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

★オンデマンド：日本の英語教科書に見るジェンダーロール
オンデマンド授業は約90分の動画を10月6日までにmoodleで配信します。

- 第1回 ジェンダーと英語教育1
- 第2回 ジェンダーと英語教育2
- 第3回 外国語としての日本語
- 第4回 外国語習得1
- 第5回 外国語習得2
- 第6回 英語習得のメカニズム
- 第7回 外国語学習者の心理
- 第8回 外国語学習者の統計分析1：基本統計量、図表作成
- 第9回 外国語学習者の統計分析2：分散、標準偏差
- 第10回 外国語学習者の統計分析3：平均値比較（t検定）
- 第11回 外国語学習者の統計分析4：1元配置分散分析
- 第12回 外国語学習者の統計分析5：2元配置分散分析
- 第13回 外国語学習者の統計分析6：相関分析、回帰分析
- 第14回 総括、期末発表

事前・事後学修／Preparation and assignments

授業前に担当者は関連文献を読んで発表資料を準備しておくこと。
非担当者は発表資料を確認したうえでディスカッションポイントを準備しておくこと。
事前学習の想定時間は2時間です。
授業後に、授業で学んだことをまとめ、理解を深めること。事後指導の想定時間は2時間です。

★オンデマンド

- [事前学習] ジェンダーの意味について調べておく。
- [事後学習] 感想文を作成し、提出する。

第1回

〔事後学習〕シラバスに目を通し、スケジュール・課題等を確認する。今学期の目標を決める。

第2回

〔事前学習〕指定資料を読む。ディスカッションポイントをまとめる。

〔事後学習〕本時で学んだ箇所をまとめておく

第3回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。ディスカッションポイントをまとめる。

〔事後学習〕本時で学んだ箇所をまとめておく

第4回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。ディスカッションポイントをまとめる。

〔事後学習〕本時で学んだ箇所をまとめておく

第5回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。ディスカッションポイントをまとめる。

〔事後学習〕本時で学んだ箇所をまとめておく

第6回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。ディスカッションポイントをまとめる。

〔事後学習〕本時で学んだ箇所をまとめておく

第7回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。ディスカッションポイントをまとめる。

〔事後学習〕本時で学んだ箇所をまとめておく

第8回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。

〔事後学習〕本時で学んだ内容を復習し、宿題を提出する。

第9回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。

〔事後学習〕本時で学んだ内容を復習し、宿題を提出する。

第10回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。

〔事後学習〕本時で学んだ内容を復習し、宿題を提出する。

第11回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。

〔事後学習〕本時で学んだ内容を復習し、宿題を提出する。

第12回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。

〔事後学習〕本時で学んだ内容を復習し、宿題を提出する。

第13回

〔事前学習〕指定資料該当箇所を読み、予習する。

〔事後学習〕本時で学んだ内容を復習し、宿題を提出する。

第14回

〔事前学習〕期末発表を準備する。

〔事後学習〕これまでの内容を復習する。

授業の到達目標／Expected outcome

1. ベーシック・アカデミック・スキル（文献探索力、情報収集力、文献読解力、プレゼン力、分析力）を身につけることができる。
2. 主体的にグループワークに参加し、議論を深めることができる。
3. 外国語教育や学習者心理に関する文献をクリティカルに読み、まとめることができる。
4. 初級データ統計分析ができる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained	
・ 主体性 ・ 発信力	専門知識・専門技能 【文化学部 国際文化学科】 ・ 人文学に関する知識 ・ 地域文化に関する知識
履修上の注意／Special notes, cautions	
<課題について> 課題の提出期限を守ってください。 <出席について> 欠席の場合は、事前に担当教員に連絡をしてください。 5回以上の欠席は、不可になります。	
評価方法／Evaluation	
1. 積極的な授業参加度・文献の事前学習・授業内ディスカッション40% 2. プレゼンテーション 30% 3. 期末発表 30%	
教 材／Text and materials	
教科書：なし。 参考書： 1. 石川有香（編著）『ジェンダーと英語教育：学際的アプローチ』（大学教育出版、2020） 2. 荒川洋平『日本語という外国語』（講談社、2009） 3. 白井恭弘『外国語学習に成功する人，しない人-第二言語習得論への招待』（岩波書店、2004） 4. 白井恭弘『英語教師のための第二言語習得論入門 改訂版』（大修館書店、2023） 5. 廣森友人『改訂版 英語学習のメカニズム』（大修館書店、2023） 6. 福田倫子、小林明子、奥野由紀子（編著）『第二言語学習の心理－個人差研究からのアプローチ』（くろしお出版、2022）	
質問や相談の方法／Instructor contact	
オフィスアワー：月曜 12:30-13:00（事前予約が必要） 連絡先：moodleに記載するメールアドレス 授業に関する質問や相談などがある場合は、メールで質問すること。	
その他／Others	
BYOD (Bring your own device) 推奨しています。各自PCを持参してください。 授業が始まるまでに図書館で上記参考書に目を通しておいってください。	